

平成 29 年 上富良野町議会第 3 回定例会

一般質問 質問事項一覧

届出順	氏 名	質 問 事 項
1	11 番 米沢 義英	1 国民健康保険の都道府県化について 2 教育行政について
2	3 番 佐川 典子	1 十勝岳「泥流地帯」の映画化等について 2 中央コミュニティ広場テントの利用規約について
3	9 番 荒生 博一	1 外国人観光客の受け入れ整備について 2 特別養護老人ホームラベンダーハイツ事業について
4	10 番 高松 克年	1 平成 30 年度よりの米生産調整廃止後の政策の方向性について 2 不育治療費の助成について

一般質問通告書(平成 29 年 9 月定例会)

氏名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p>1 11 番 米沢 義英</p> <p>1 国民健康保険の 都道府県化につい て</p> <p style="text-align: right;">(町 長)</p>	<p>国民健康保険料(税)の決定と徴収及び保健事業は、市町村が行っているが、今後は北海道が運営することになる。保健事業の広域化によって、各自治体の保険料が抑制されるかのような印象を与えてはいるが、必ずしも断言できるものではないと考える。それは加入者数の減少や所得水準が低くなる傾向にあり、保険料が事業の仮保険料の算定も示されてはいるが、諸条件によっては、保険料のさらなる引き上げも考えられるためである。次の点について見解を求めたい。</p> <p>(1) 保険料の決定においては、道が標準的な保険料を決めるが、市町村独自の軽減措置（一般会計からの繰り入れなど）を禁止するものではないとしている。また、保険料の決定においては、医療費の抑制に努めている成果が反映されるかは考えられないか。</p> <p>(2) 国民健康保険料（税）の算定は、自治体によって設定できると聞いているが、町はどの賦課方式を選択するのか。また、保険料とするのか保険税とするのか、町はどう対処するのか。</p> <p>(3) 国は、国会付帯決議、地方3団体の要請もあり、子どもの均等割額の縮小を検討中と聞いているが、子どもの均等割縮小・廃止も必要では。</p> <p>(4) 町独自で、国保加入者の子育て世帯を支援するためにも減免制度を設定すべきでは。現在、子育て世帯は何世帯いるのか、所得別に伺いたい。</p>
<p>2 教育行政につい て</p> <p style="text-align: right;">(教育長)</p>	<p>可処分所得の低下などにより、所得格差が広がっている。町において、所得が増えない中での家計のやりくりが大変という声も聞かれる。また、学校に係る費用負担も結構あると聞いている。保護者負担の軽減のためにも、中学校の入学時のお祝いとして、指定ジャージの無償給付を実現してはどうか。</p> <p>私の質問に対し、教育委員会は、準要保護のスクールバスの利用範囲を拡大したと答弁している。努力は評価するが、指定ジャージの無償給付を望む声がある今、保護者負担軽減</p>

	に向けた対応をすべきと考えるが。
<p>2 3番 佐川 典子</p> <p>1 十勝岳「泥流地帯」の映画化等について (町 長)</p>	<p>今年、かみふらの 120 年記念事業が様々な観点から開催され、改めて多くの町民が町の歴史に関心を寄せている。</p> <p>町の歴史をかえりみると、大正 15 年 5 月 24 日の十勝岳爆発は、我が町に甚大な被害を及ぼしたことは多くの町民の知るところである。また、その災害の復興を成し遂げたことも、現在の町の宝である。</p> <p>この十勝岳爆発による泥流災害を、故三浦綾子さんが「泥流地帯」、「続・泥流地帯」の小説の中で書き下ろしているが、多くの被害者及び家族からの聞き取りを行い、事実を文章化している場面も多く見られている。</p> <p>(1) 十勝岳「泥流地帯」の映画化が地域活性化事業の中でどう生かされるべきと考えているのか伺いたい。</p> <p>(2) 近年、災害による被害が日本各地で報告されているが、災害を乗り越えた町、復興を成し遂げた町としての歴史的認知度を深めることが町の財産になると考えるが、その点をどのように進めていくのか伺いたい。</p> <p>(3) 一昨年、大正泥流から 90 年にあたり、草分地区においての式典が行われたが、大正泥流で亡くなられた方々を偲ぶ心や弔意をどのような形で後世に繋げようと考えているのか伺いたい。</p> <p>(4) 災害で受けた被害や状況把握の復興に留まるだけでなく、目には見えない心の中の被害と復興に繋げるための心の支えとなる映画にするために、町民はどのように関わっていくべきか伺いたい。</p>
<p>2 中央コミュニティ広場テントの利用規約について (町 長)</p>	<p>平成 26 年に、町民が自由に集う場所として、またイベントやレクリエーションの余暇活動や文化活動を通じて懇親を深め、心豊かなコミュニティ形成育成のできる空間として、雨天でも利用できる屋外テントが設置された。昨今では、諸団体が懇親を兼ねての焼肉パーティの場などにも使用され喜ばれている。</p> <p>利用者が年々増え、利用受け入れ人数も多いことから、同日・同時間での利用も増えている。そこで、現在の利用者に対する規約等の内容について伺いたい。</p> <p>(1) 迷惑行為があったときや利用者間で問題が発生したとき又はいやがらせ行為があったとき（特に祝日や土・日の夜</p>

	<p>間8時30分までの使用)は、誰が対応することになっているのか。</p> <p>(2) また、今後においては、使用申請があった時点で責任者に利用規約を承認させることや規約に他団体への配慮や迷惑行為をさせないことなどへの注意事項を増やすことが必要になると思われるが、それらについて伺いたい。</p>
<p>3 9番 荒生 博一</p> <p>1 外国人観光客の受け入れ整備について (町長)</p>	<p>近年、外国人観光客が上富良野町に多く訪れており、町の活性化にとっては大いに歓迎すべきことである。しかしながら、マナー違反をする外国人観光客が増えてきている。については、外国人観光客受け入れ体制の整備、対策が必要と考える。次の2項目について町長に伺う。</p> <p>(1) わが町の基幹産業である農業の農地に、写真撮影などで許可なく侵入する外国人旅行者が後をたたないと聞かされる。町長の現状認識と苦情などが町に来ていないのか伺う。また、今後の侵入対策についての具体的考えを伺う。</p> <p>(2) 交通事故などの防止対策に関し、外国人観光客をターゲットにした看板設置などの具体的取り組みについて伺う。</p>
<p>2 特別養護老人ホームラベンダーハイツ事業について (町長)</p>	<p>平成27年度からラベンダーハイツ事業特別会計は、大変厳しい財政運営をしている。歳入不足から、繰上充用も2年連続で行われ、町長においては、4か年の経営改善計画を作成し、経営改善の努力をされているところだが、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 本年度上期4か月(4月から7月)の施設の利用者数及び1年間の収支見込みについて、現在までの利用状況をどのように分析し認識されているのか。また、目標達成に向けた利用者数増の具体的な取り組み策について伺う。</p> <p>(2) 利用者向上に向けたPR不足から、広報誌の活用や社会福祉協議会、地域包括支援センターとの連携を行うと予算特別委員会で発言されていた。これまでの間、どのような取り組みを具体的に行ってきたのか伺う。</p> <p>(3) ラベンダーハイツは、建設から既に30数年以上が経過し、老朽化が著しい現状にある。時代の背景とともに、入所者のニーズも多様化していると考えるが、今後どのような整備をされるのか伺う。</p>
<p>4 10番 高松 克年</p> <p>1 平成30年度より</p>	<p>(1) 今後の方向性と町の位置付けをどのように考えるか伺う。</p>

<p>の米生産調整廃止後の政策の方向性について (町 長)</p>	<p>(2) 現在、水田利活用により、作目の住み分け（調整）がうまく機能していると思うが、今後もこれを続けるために必要な条件整備について伺う。</p> <p>(3) 政策変化に対応するには、経営体に対して正確な情報と将来像、所得確保が重要な条件となると思うが、町の対応を伺う。</p>
<p>2 不育症治療費の助成について (町 長)</p>	<p>不育症に対して本年度より道は助成事業を行っているが、それを補う意味を含めて、本町でも助成事業を立ち上げるべきと思うが、どのように考えるか伺う。</p>